

—ご挨拶—

伊賀まちかど博物館は、今年の3月12日で開館満5周年を迎えました。その間に、新しく伊賀市が誕生するなど、取り巻く環境も随分変化してまいりました。しかし、それぞれの地域を尊重し、それぞれの特性を活かしたまちかど博物館事業が何よりも、今の伊賀に必要であり、大切な宝物であるとの思いは変わるものではありません。

館長さん方のご活躍によりまちかど博物館事業は、伊賀地域内外に周知されてまいりました。

これからは館長さん方との情報の共有化を手段として、交流と発信を目的とした事業展開を行ってまいりたいと思います。

今後とも、ご協力をよろしくお願いいたします。

伊賀まちかど博物館推進委員会 代表 辻村勝則

～参加しました～

3月20日(日)～21日(祝) 第2回三重のまちかど博物館まんなか博覧会

伊賀まちかど博物館、久々のイベント参加は、なんと伊賀地域から飛び出し、「三重のまちかど博物館まんなか博覧会」でした。

このイベントは、中勢地区の「三重のまんなかまちかど博物館」を推進する「三重のまんなか・ええとこさがし委員会」と「館長友の会」の皆さんを中心に、地元の有志などを加えた実行委員会が主催したもので、平成15年2月の第1回に引き続き、津市一身田町(寺内町)とその周辺での開催となりました。伊賀のほかにも「東紀州」「松阪紀勢界限」「桑員」といった県内各地のまちかど博物館がこの地に集結し、それぞれの魅力を競いました。

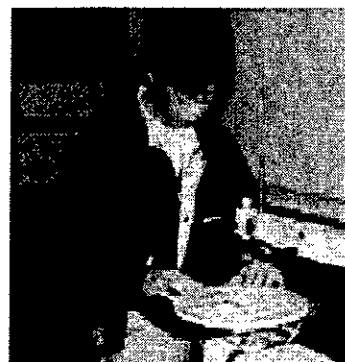
今回、伊賀からは『創作盆景 流工房』『アトリエちいく』『手づくり工房 木まま館』の3館にご協力をいただき、一身田の古い町並みのうちの一軒を一部開放していただいで展示・実演を行いました。

「まちかど博物館といえば『伊賀』！」などと声をかけてくださる方や「伊賀に行きたかったけれど、こんなに近くで見ることができてうれしい。」とおっしゃっていただく方、改めて、5年という伊賀まちかど博物館の歴史みたいなものを感じました。

それぞれの展示や実演を息を呑んで見ている人、目をまんまるくして質問する子どもたち…どの顔も楽しそう、必ず最後には「ありがとう」と一言を残してくださいます。



また今回は、3館とも館長さんのご家族がいらしていただきましたが、逆に奥様の方が「こんなに皆さんに受け入れて、楽しんでいただけるなんて・・・」などと感激のご様子で、これからはもっとダンナさまを尊敬するとか～ご家族円満にも一役(?)のイベントとなりました。



「伊賀まちかど博物館ショップ」

伊賀上野NINJAフェスタに出店！

伊賀まちかど博物館運営委員会では、4月24日（日）に伊賀市上野東町の空き店舗をお借りして「伊賀まちかど博物館ショップ」を出店しました。これは伊賀上野NINJAフェスタ（4月1日～5月5日）の一環として、伊賀まちかど博物館（以降まちかど博物館）を多くの方々に知っていただくことと、収益をまちかど博物館事業に充てることを目的として出店したものです。

会場としてお借りした伊賀市上野東町城下町まるごと博物館推進室（旧まついのおもちゃ屋）の店内には、有志の館長さん方からご提供頂いたつる細工、ひょうたん細工、盆景、木工品などの作品や組紐、伊賀焼などの伊賀の産品、和菓子や醤油、漬け物などの食品が所狭しと並べられました。

当日はお天気にもめぐまれ、店内は忍者衣装の観光客や全国京都会議で他県から訪れた皆さん、なにごとかとのぞき込む地元の方々に終日賑わいました。

当日の売り上げは13万円あまりとなり、これはまちかど博物館事業の運営資金として有効に利用させていただきます。

最後になりましたが、商品提供にご協力を賜りました館長さま方に心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。



伊賀まちかど博物館グッズの追加配布について

・伊賀まちかど博物館博物館ガイドブックの増刷ができました。ご希望の館長さんは7月末日までに最寄の下記配布場所まで、お越してください。なお作成部数の関係から、今回の配布は一館あたり50部を上限とさせていただきますのでご了承ください。

伊賀市内の館→各支所（旧市役所、役場）地域振興室（課）

名張市内の館→市役所教育委員会